

2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月15日

上場会社名 株式会社アートフォースジャパン 上場取引所 東
コード番号 5072 URL <https://www.artforcejapan.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山口 喜廣
問合せ先責任者 (役職名)取締役経営統括本部長 (氏名)野崎 昭彦 (TEL)0557(45)1109
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	3,381	11.8	9	—	4	—	1	—
2023年12月期第3四半期	3,024	△13.8	△67	—	△69	—	△32	—

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 △1百万円(—%) 2023年12月期第3四半期 △32百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	5.64	—
2023年12月期第3四半期	△129.52	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	3,405	852	25.0
2023年12月期	3,038	853	28.1

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 852百万円 2023年12月期 853百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,574	9.7	93	—	78	—	53	—	211.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期3Q	251,000株	2023年12月期	251,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	一株	2023年12月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期3Q	251,000株	2023年12月期3Q	251,000株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご説明にあたっての注意事項については、3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化とインバウンド需要の回復が進み、企業収益や雇用情勢・所得環境等が改善の方向に向かい、緩やかな回復基調が続いております。一方、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の悪化等の地政学的リスクを背景とした資源および原材料価格の高騰が継続しているほか、為替の変動と中国経済の先行き懸念や世界的な金融引き締めによる世界経済の下振れリスクの影響等は、わが国の景気先行きを下振れさせるリスクが多数存在しており、予断を許さない状況が続いております。

当社グループの主たる事業分野である戸建て住宅建築業界におきましては、政府による各種住宅取得支援政策が継続しているものの、エネルギー資源や資材価格はユーティリティコストが高い水準で推移し、現場従事者の慢性的な不足や時間外労働の上限規制に伴う人件費上昇による建設コストの増加が続いていることとインフレ圧力による金融引き締め政策として、住宅ローンの利上げ懸念が住宅取得マインドの低下となり住宅着工戸数は減少が続く等弱含みで推移する状況が続いており、国土交通省発表による全国の新設住宅着工戸数(出典：国土交通省 建築着工統計調査 2024年10月31日公表の2024年9月 月次データ)住宅着工戸数総計が前年同期比 96.3%となり、住宅着工の動向については、6か月連続の減少となっております。利用関係別にみると、「持家」につきましては同 93.8%、「貸家」につきましては同 100.5%、「分譲住宅」につきましては同 87.8%となっております、持家と分譲住宅を中心に低迷する状況が続いております。

このような事業環境のなか、当社グループは戸建て住宅建築の課題解決を更に図り、顧客サービスの差別化を強化するため、従前より取り組んでおります「周辺分野の拡充」、「基盤分野の強化」、「大規模建築物向け地盤調査・地盤改良工事」、「新規事業の推進」、「働き方改革と多様な人財の活用」、「住宅地盤分野のDX化の推進」を進めるため、現場力の強化として、徹底した工程管理やバリューエンジニアリングの継続に、安全・良質な工事施工のためのリスク管理の見直しを加えて、コストの適切なコントロールなど、原価低減の実現に努めており、また、継続して販売費及び一般管理費の削減など管理可能な諸施策の取組みに努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高 3,381,144千円(前年同期比 11.8%増)、営業利益 9,953千円(前年同期は営業損失 67,203千円)、経常利益 4,835千円(前年同期は経常損失 69,334千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益 1,415千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失 32,508千円)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

(地盤改良事業)

当社の中核事業である地盤改良事業におきましては、新設住宅着工棟数の減少が続いているなか、新たな工法を採用したことと貸家案件が堅調に推移し、子会社(株)サカジオが行う地質調査から当社の地盤改良工事への案件が増加した結果もあったことなどから、当事業の業績は売上高 2,593,112千円(前年同期比 16.7%増)、セグメント利益は 140,076千円(前年同期比73.9%増)となりました。

(建築事業)

建築事業におきましては、住宅建築工事の引渡し遅れは一部有るものの、概ね堅調に推移しております。また、公共工事については、一部休工期間延長が発生し進捗に遅れが生じておりますが、営繕工事の受注および完工高が前年同期比 54.9%増加した結果、当事業の業績は売上高 602,677千円(前年同期比 2.5%減)、セグメント利益は 71,984千円(前年同期比 130.7%増)となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、クレーン施工は概ね堅調に推移しておりますが、仮設材レンタルは公共工事における各工事期間短縮による影響を受けて、レンタル料収入が前年同期比 15.4%減少し、原価および経費については資材価格をはじめとする物価高騰などの影響により前年同期比 2.0%減少にとどまった結果、当事業の業績は売上高 197,605千円(前年同期比 1.4%減)、セグメント利益は 7,549千円(前年同期比 67.5%減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は3,405,135千円となり、前連結会計年度末に比べ366,886千円増加となりました。このうち、流動資産は1,621,321千円となり、この主な要因は「受取手形・工事未収入金等及び契約資産」が15,310千円増加、「未成工事支出金」が15,268千円増加、「現金及び預金」が26,909千円減少、「電子記録債権」が34,952千円減少したことなどによるものであります。また、固定資産は1,783,813千円となり、この主な要因は、有形固定資産は「リース資産」が194,681千円増加、無形固定資産は「のれん」が6,771千円減少、投資その他の資産は「投資有価証券」が203,661千円増加、「繰延税金資産」が18,896千円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,552,793千円となり、前連結会計年度末と比べ368,263千円増加となりました。このうち、流動負債は1,519,817千円となり、その主な要因は「1年内返済予定の長期借入金」が20,906千円増加、「リース債務」が35,308千円増加、「賞与引当金」が14,582千円増加したことなどによるものであります。また、固定負債は1,032,976千円となり、その主な要因は「長期借入金」が117,307千円増加、「リース債務」が179,161千円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は852,341千円となり、前連結会計年度末に比べ1,377千円減少となりました。この要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによる「利益剰余金」が1,415千円増加、「その他有価証券評価差額金」が2,792千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期通期連結業績につきましては、前年より増収増益の見込みで推移しておりますが、為替の変動と世界情勢の緊迫化等の地政学リスクや資源価格および原材料価格の高騰が継続しているほか、物価上昇による個人消費への影響や住宅着工戸数の推移など、景気への影響が不透明な状況が続くものと見込まれております。現時点では、2024年2月15日に公表いたしました連結業績予想は修正しておりません。但し、今後、2024年12月期の連結業績に修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	711,847	684,938
受取手形・工事未収入金等及び契約資産	647,405	662,716
電子記録債権	137,655	102,703
未成工事支出金	76,482	91,750
商品	3,603	2,858
原材料及び貯蔵品	7,655	12,399
未収入金	24,637	10,913
前渡金	145	15,220
その他	53,054	39,566
貸倒引当金	△1,432	△1,746
流動資産合計	1,661,054	1,621,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	108,800	103,698
機械装置及び運搬具(純額)	131,007	121,608
土地	501,299	501,299
リース資産(純額)	280,208	474,889
その他	11,412	10,945
有形固定資産合計	1,032,727	1,212,441
無形固定資産		
ソフトウェア	3,868	8,852
のれん	42,132	35,361
その他	1,623	1,602
無形固定資産合計	47,624	45,816
投資その他の資産		
投資有価証券	39,576	243,238
繰延税金資産	67,191	86,087
長期前払費用	124,617	132,174
差入保証金	28,593	28,099
保険積立金	28,912	29,851
その他	20,547	19,418
貸倒引当金	△12,596	△13,313
投資その他の資産合計	296,841	525,556
固定資産合計	1,377,193	1,783,813
資産合計	3,038,248	3,405,135

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	375,172	373,136
短期借入金	610,000	610,000
1年内返済予定の長期借入金	100,522	121,428
リース債務	116,741	152,050
未払法人税等	8,920	17,936
未払金	55,838	58,290
未払費用	93,725	85,094
契約負債	51,390	57,207
賞与引当金	8,620	23,202
その他	28,969	21,470
流動負債合計	1,449,902	1,519,817
固定負債		
長期借入金	440,873	558,181
リース債務	194,436	373,598
退職給付に係る負債	99,226	99,878
その他	90	1,317
固定負債合計	734,627	1,032,976
負債合計	2,184,529	2,552,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,980	50,980
利益剰余金	803,562	804,977
株主資本合計	854,542	855,957
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△823	△3,616
その他の包括利益累計額合計	△823	△3,616
純資産合計	853,718	852,341
負債純資産合計	3,038,248	3,405,135

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
売上高		
完成工事高	2,839,916	3,195,532
兼業事業売上高	184,994	185,611
売上高合計	3,024,911	3,381,144
売上原価		
完成工事原価	2,349,547	2,585,086
兼業事業原価	126,104	133,956
売上原価合計	2,475,652	2,719,042
売上総利益		
完成工事総利益	490,369	610,446
兼業事業総利益	58,889	51,655
売上総利益合計	549,258	662,101
販売費及び一般管理費	616,462	652,148
営業利益又は営業損失(△)	△67,203	9,953
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,694	1,477
受取保険金	5,761	11,091
助成金収入	985	1,355
その他	3,235	3,623
営業外収益合計	11,676	17,547
営業外費用		
支払利息	13,045	15,840
リース解約損	—	1,756
その他	762	5,068
営業外費用合計	13,808	22,665
経常利益又は経常損失(△)	△69,334	4,835
特別利益		
固定資産売却益	12,978	8,561
投資有価証券売却益	14,415	—
受取補助金	550	—
特別利益合計	27,943	8,561
特別損失		
固定資産売却損	368	1,008
固定資産圧縮損	550	—
特別損失合計	918	1,008
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△42,308	12,388
法人税、住民税及び事業税	13,666	28,439
法人税等調整額	△23,466	△17,466
法人税等合計	△9,800	10,972

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△32,508	1,415
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△32,508	1,415

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△32,508	1,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	238	△2,792
その他の包括利益合計	238	△2,792
四半期包括利益	△32,270	△1,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△32,270	△1,377

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	地盤改良事業	建築事業	その他事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,222,073	617,842	182,610	3,022,527	—	3,022,527
その他収益(注) 3	—	—	2,384	2,384	—	2,384
外部顧客への売上高	2,222,073	617,842	184,994	3,024,911	—	3,024,911
セグメント間の売上高 又は振替高	—	—	15,446	15,446	△15,446	—
計	2,222,073	617,842	200,441	3,040,357	△15,446	3,024,911
セグメント利益	80,543	31,197	23,235	134,977	△202,180	△67,203

- (注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額は、セグメント間取引消去であります。セグメント利益の調整額 △202,180千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。
3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社サカジオの全株式を取得し連結子会社といたしました。

これに伴い、「地盤改良事業」セグメントにおいて、のれんを計上しております。なお、当該事象によるのれんの発生額は 45,142千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	地盤改良事業	建築事業	その他事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,593,112	602,420	181,970	3,377,503	—	3,377,503
その他収益(注) 3	—	—	3,641	3,641	—	3,641
外部顧客への売上高	2,593,112	602,420	185,611	3,381,144	—	3,381,144
セグメント間の売上高 又は振替高	—	257	11,994	12,251	△12,251	—
計	2,593,112	602,677	197,605	3,393,395	△12,251	3,381,144
セグメント利益	140,076	71,984	7,549	219,611	△209,658	9,953

- (注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額は、セグメント間取引消去であります。セグメント利益の調整額 △209,658千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく賃貸収入等であります。
 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	148,235千円	147,506千円
のれんの償却額	—	6,771

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。